

組合だより

第163号
2013年
4月22日

発行所 **岡山大学職員組合**
〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1
電 話 086-252-1111 (代)
7168 (内線)
直通 TEL&FAX 086-252-4148

ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

目次：1.委員長あいさつ 2~4.各単組からの呼びかけ 5.団体交渉確認書 6.全大教情報 7.旅日記 8.お知らせ

岡山大学職員の生活と権利を守るために いっしょに組合やりませんか！

あなたも 岡山大学職員組合に



今年度より岡山大学で働き始めたすべての教職員の皆さん、まだ岡山大学職員組合に加入されていない皆さんに、岡山大学職員組合へのご加入を心より呼びかけます。岡山大学教職員の生活と権利を守るために、いっしょに組合活動をしましょう！

岡山大学職員組合の取り組みの成果

昨年度から全国の国立大学法人教職員の給与は、国家公務員給与臨時特例法に基づいて国家公務員と同様に平均7.8%削減されています。岡山大学職員組合はこれに反対して大学側と団体交渉を積み重ね、昨年度は減額率を平均3%以上減らし、今年度は調整手当の2%増額を勝ち取りました。あわせて、特別休暇の拡充や看護師の夜間勤務手当増額なども実現させました。

また、労働契約法の改正に伴う有期雇用職員の雇用制度についても、機械的に5年終了時点で雇い止めにするのではなく、在職者は可能な限り長期間の雇用ができるように措置されました。

2003年の国立大学法人化後、労働条件は労使による交渉を通じて法人毎に決めることになったとは言え、「国が決めた通り」という法人がほとんどの中、どうして岡山大学でこうした成果を勝ち取ることができたのでしょうか？

成果を生み出すことができたわけ

①大学と組合との良好な関係

岡山大学職員組合と大学との間には良好な関係が歴史的に築かれてきてきました。岡山大学職員組合はただ反対・批判するだけではなく、提案しながら最善の合意点を探る交渉と対話を続けてきました（千葉喬三前学長とのやりとりは、岡山大学職員組合編『学長との対話—法人化と岡山大学の6年間—』にまとめられています）。森田潔学長ら現執行部とも、真摯な交渉と

対話を続けてきました。こうした関係が森田学長の英断を引き出し、成果を生み出してきたと思います。

②組織規模を保つことで高まる影響力

岡山大学職員組合には現在ほとんどの学部へ属する数百人の組合員がおり、大学側が無視できない組織規模を有しています。全国的に見ても5本指に入る規模です。立場の弱い労働者が交渉をして成果を勝ち取っていくためには、この組織規模を保つことが重要です。

岡山大学職員組合は各学部の単位組合の連合体です。現在、法文経、教育、工、理、農、医、附属学校園の7単組があり、単組に加入することで自動的に全学の岡山大学職員組合に加入することになります（単組がない場合は連合体に直接加入します）。このような構造になっていることで、組合活動は各学部等の状況・要求にも、全学的な状況・要求にも対応することができます。こうして組合活動が多様で身近であるため、一定の組合員数を維持できていると思います。

あなたも組合に！

岡山大学職員組合では、文化・レクリエーション・学習活動などの全学的なイベントも数多く開催しています。皆さんと楽しく組合活動を通じて交流できればと思います。いっしょに組合活動しましょう！

(執行委員長 住野 好久 (教育学部))

各学部単組もあなたの加入をお待ちしています！



法文経学部職員組合

岡山大学法文経職員組合は、皆様のご加入・ご協力を求めています！

今日、情報化とグローバルな競争環境に置かれている日本において、知的創造や科学技術が国民生活や国の発展にとっての重要性が増大し、高度な教育研究を担う大学への期待はますます高まっています。岡山大学も他の組織と同様、全構成員が協力しながら教育・研究力を高めていかねばなりません。他方、厳しい財政状況にあって、給与・勤務条件を含む私たちの研究・職場環境は厳しい状況にあります。だからこそ、給与・勤務条件を含む研究・職場環境のあり方は、自律的労使関係を旨とする岡山大学構成員の自律的決定・自主的努力の問題として協議されていくべきものです。

もし組合がなかったとすると、長時間労働、教職員の育児・介護に関わる勤務時間等への配慮、弱い立場にある非常勤職員等の問題について、教職員の声を代表して大学執行部と交渉することもできず、解決のすべがない状況に陥るおそれがあります。そして、こうした組合と大学執行部との交渉は、組合組織率が高いことによって有効かつ適正に機能します。単に自分の勤務条件や職場環境が問題なければいいのではなく、岡山大学の構成員全体の勤務条件や職場環境を守り、改善していくため、皆様の協力をいただきたいのです。

また法文経職員組合では、教職員の親睦の機会として、夏にビール大会、冬に職場懇談会を開催するほか、年数回の文化教養講座（教員の講演、コンサートなど）を開いて、組合員間の連帯感の向上と情報の共有に努めています。そして、そうした場で表明された教職員の皆様の声を大学当局へしっかりと伝えます。

法文経職員組合に加入して、勤務条件・職場環境の改善にともにたずさわりませんか。

(連絡先) 書記長 中村 誠 (法学部)

e-mail : nmakoto@okayama-u.ac.jp

工学部職員組合

工学部職員組合の委員長をしています柳瀬です。工学部にも組合があったのかと今更思われる方がおられるかもしれませんが、現にありません。ただし人数は大変少なく、もう一桁になってしまいました。活動も非常に限られたものとなっています。それならもういらないのかと言えば、それは間違いです。

現在の大学は、ほとんど全ての事項が上の方で決定され、それが下の方へ降りてくる形となっています。けれども、一般の職員（教員、技術職員、事務職員、非常勤職員）がそれに対して意見を述べる、あるいは異議を唱えるのは大変難しい状況となっています。

その中で唯一岡山大学職員組合は、意見を述べるあるいは反論することのできる貴重な組織であり、工学部の職組はその一員です。我々にとって恐らく最重要問題である給与については、個人が単独で抗議するのはほとんど不可能ですが、組合ならそれができます。実際、岡山大学で若干でも給与削減が緩和されているのには、組合の努力がかなりの影響を持っていたことを知っていただきたいと思います。

もし工学部職組についてもっと知りたいと思われた方は下記までご連絡ください。みなさんにとって新しい世界が広がります。

(連絡先)

委員長 柳瀬眞一郎 (内 8226)

書記長 大西 孝 (内 8042)



教育学部職員組合

私たち教育学部職員組合は、従来から政治色もなく、けたたましさもなく、学部の執行部とは良好な関係を保ちつつ主張すべきことは主張し、教職員同士のつながりをつけるための様々なイベントを企画運営しながら、すべての教職員が働きやすい環境づくりに努めています。

今年度は、「健康・スポーツ」をテーマとして掲げ、このテーマの下にすべての活動を意味付け、まとまりを持たせてきました。具体的には、前期終了・オープンキャンパスの慰労会を兼ねての「ビアパーティー」、教育学部の事務職員が出演する演劇の観劇補助、「まちなかスポーツカフェ・はじめてのファジアーノ岡山」参加費補助、懇話室へのアクアクララ・レッグマジックサークル設置、年末ボウリング大会（事務部との共催）・忘年会、「平日に年休を取得しよう」をスローガンに企画した「湯郷温泉ツアー」（湯郷 Belle の練習見学含む）、「新任教職員と一緒に昼食会」など、多数のイベントを実施しました。

教育学部の職員組合の特徴は、組合員－非組合員、教員－事務職員といった分け隔てなく、皆が集える場を提供しようとしているところにあります。「それがあって、いざという時に一つの目標に向かって協力できる」「それがあって、なんとなく働きやすくなる」、そうしたことばで形容できる教育学部職員組合に、ぜひ参加してください。

（連絡先）

委員長：梶谷信之 kajitani@okayama-u.ac.jp
書記長：大竹喜久 ohtake@okayama-u.ac.jp

附属学校園職員組合

3月21日の定期総会で新しい活動方針と役員が決まり、今年度の活動がスタートしました。

附属学校園の教職員は、岡山県との人事交流で、県内の幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校から転勤してきています。

そのため、総会でも意見が出されましたが、組合員の権利の保障と待遇の改善に関する活動については、特に、県の待遇と比較しながら交渉をしてきました。前年度は、特に、民主的な職場の確保について、教職員からのアンケートを基に勤務時間に関わること、変形労働時間や

休暇に関わること、賃金に関わることなどについて話し合いをしました。一部改善されていない件もあるので、今後も引き続き交渉し、ぜひ改善につなげていきたいと思っています。

また、組合のもう一つの大切な活動、附属学校園間の職員の交流・親睦では、夏休み中にレクリエーション大会（例年、ボウリング大会）を行っています。今年度は、要望により『ODUポロシャツ』の素材を変更し、さらに、昨年度に引き続き組合員への配付を予定しています。加えて、附属学校園間や本学との交流や睦会等について企画・参加できればと考えています。

今年度の活動についても、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



理学部職員組合

現在の理学部職員組合の構成員は現在27人です。理学部は、数学科・物理学科・化学科・生物学科・地球科学科の5学科と界面科学研究施設や臨海実験所などのいくつかの附属施設からなります。普段の仕事の中では他学科の先生同士の交流はほとんどありませんが、組合では学科の垣根を越えて交流を持つことができます。

主な活動としては、毎年夏と冬に懇親会を開いており組合員同士の親睦を深め合っています。また、学部長懇談会を開催して学部の運営について積極的に意見交換を行ったり、講演会を開いて互いの知見を広め合ったりするような活動も行っています。

現在の職場環境を見渡してみると、職員管理が厳しくなっている一方で、個々の職員が孤立しやすい状況が増加しています。そのような中で、職員組合が果たす相互扶助の役割は重要度を増してきています。より良い職場環境をつくるため、是非、組合に加入して活動に参加していただければと思っています。

（連絡先）

委員長 川口建太郎 内線：7848
e-mail：okakent@cc.okayama-u.ac.jp
書記長 小田 仁 内線：7884
e-mail：lfee0688@cc.okayama-u.ac.jp

農学部職員組合

農学部職員組合ではレクリエーション活動（「芋掘り会」、「レジャーに出かけよう！！」）や労働環境に関するアンケートおよびアンケート結果に基づいた学部長・FSセンター長との懇談会を実施しています。

「芋掘り会」は毎年多くの方にご参加いただきご好評をいただいています。特にご家族連れでのご参加が多く、秋のさわやかな天候の下、農学部農場でできた大きなお芋を収穫する喜びを味わっていただいています。「レジャーに出かけよう！！」は組合員やそのご家族の文化的・娯乐的催しへの参加の一部補助を行っています。

アンケートでは、労働環境に関わる様々なご意見を出していただき、それをもとに学部長およびFSセンター長と意見交換を行っています。

給与や退職金の問題、大学の統合や連携の問題などなど、労働環境をめぐる状況は非常に厳しいものがありますが、学部としてのしっかりとしたまとまりを持って、柔軟にそして強固に対応していければと考えています。皆様のご加入をお待ちしています。

（連絡先）

委員長 平井儀彦 内線 8316

e-mail : yhirai@cc.okayama-u.ac.jp

書記長 三木直子 内線 8377

e-mail : miki@cc.okayama-u.ac.jp



詳細な活動については左の表紙のリーフレットを配布しておりますのでご覧下さい。皆さまのご加入をお待ちしております。

医学部職員組合

鹿田地区は、さまざまな職種と幅広い年代による分業と協働で成り立っており、医学部職員組合もさまざまな組合員で構成されています。そのような中で働いているといろいろな悩んだり、困ったり、相談したいこともさまざまです。そんな時に一つのよりどころとなるのが組合です。

署名活動では回収数が国立大学で1位になったり、いろいろなアンケートではたいへん多くの声を頂いたりしています。私たちはそれをもとに、待遇改善を要望したり、ニーズにそった活動に取り組みます。組合を利用しない手はないですよ。どうぞお気軽にお越しください。

組合事務所は、すずらん通り2階です。

鹿田内線：7632（平日11時～15時）

e-mail : shikataunion@gmail.com



＊環境理工学部、薬学部、全学センター等の教職員、本部職員の方は、直接「連合体」に加入できます。

新規加入キャンペーン中です！

岡山大学職員組合では、4月より6月までの3ヶ月間、新規加入キャンペーンをしています。この間に加入された方には、**組合特製のクリアファイルと3,000円の図書カード**を贈呈します。図書カードは、第1回目組合費の自動引き落とし完了後にお渡しします。

まだ未加入の方で、組合に興味をお持ちの方はお知り合いの組合員または組合事務所までご連絡ください。組合費は、各単組で活動が異なるため、単組毎に異なりますが、連合体分としては毎月本俸の0.5%、それに各単組分の組合費が加えられます。

また、有期雇用職員の方で短時間勤務職員の方の組合費は一律**500円**となっています。この機会に是非組合加入をご検討下さい。

「組合だより」161号の巻頭に掲載した2013年度の臨時特例法による給与削減および労働契約法改正による有期雇用制度見直しに関する団体交渉(2013年3月5日)についての確認書です。

本確認書に記載されているように、様々な成果を勝ち取ることができました。重要な点は赤字にしましたので、ご確認下さい。



団体交渉確認事項 2013-1

団体交渉に基づく確認事項

岡山大学職員組合(以下「組合」という。)と国立大学法人岡山大学(以下「法人」という。)は、2013年3月5日にもたれた労働組合法第六条にもとづく団体交渉結果を以下のように確認した。

- 2012年度の臨時特例法に基づく給与削減について、組合は国による運営費交付金の削減額がこれまでの給与の総削減額を上回っても、教職員の給与に反映させないことを求めた。これに対して法人は、1月から削減の圧縮率を緩めることも一時検討したが、最終的に**2012年度分については遡って給与を減額することはない**と答えた。
- 組合は、これまでの団体交渉で要求してきた給与削減に対する代償措置の早期実施を求めた。これに対して法人は、以下のような措置を実施すると答えた。
 - 「子の看護養育休暇」の取得理由に学校行事への出席を加えるとともに、対象を就学前から小学校3年生までに拡大する。**
 - 「追悼休暇」の追悼対象に、配偶者と子どもを加える。**
 - 「危機回避休暇」の対象に、災害・事故などを加える。**
 - 「夜間看護手当」について、1ヶ月に8回を超えて夜間看護した場合は1回につき2,000円を追加支給する。**
 - 大規模災害に対応するために備品・食料等の備蓄を行う。また、大学生協と相互協力協定を結ぶ(すでに締結済)。**なお、残された事項については引き続き検討することとなった。
- 2013年度の臨時特例法に基づく給与削減について、国家公務員に準拠した削減を行わないことを求めた。これに対して法人は、運営費交付金が13.3億円削減されるため、**国家公務員に準拠した削減を行うこととするが、緩和処置として減額される職員の調整手当に2%加算すること**を提案した。なお、2012年度に削減対象外であった附属学校教員については、人事交流元である岡山県の対応に合わせると答えた。
- 組合は、労働契約法改正による有期雇用制度見直しについて、無期雇用化すべき有期雇用職員の職種を広げること、無期雇用化すべき職種を検討するために現状の労働内容の調査を行うこと、及び無期とした場合の労働条件・労働環境の適切な設計を行うことを求めた。これに対して法人は、すぐに対応することは難しいが、**今後も検討を続け、組合との意見交換に応じていく**と答えた。

2013年4月9日

国立大学法人岡山大学学長

森田 潔



岡山大学職員組合執行委員長

住野 好 久



なお、組合は、新しい有期雇用職員の雇用制度について、在職者への説明を十分に行うことを求めてきましたが、各部局での説明会の一部を除いて開催されていません。今後も安心して仕事ができるように、説明と合意を十分行うように求めていきたいと思っております。

全大教裁判闘争情報



「2013/3/27 共同記者会見」(写真提供：全大教)

全国の国立大学で、国家公務員の給与臨時減額に準じた賃金引き下げに対して未払い賃金を請求する訴訟が広がっています！

高専、高エネ研、福教大につづいて、山形大学、富山大学、京都大学が訴訟をすることを決定し、3月27日に共同記者会見を行いました。他に東京学芸大学、新潟大学、福島大学も訴訟に向けて動き出しています。

この記者会見の様子は全大教のホームページでご覧になることができます。全大教からのお知らせの中の「臨時給与減額訴訟 第2次提訴の共同記者会見」という記事名で載っています。

この一連の訴訟の目的を全大教の中嶋中央執行委員長は、この記者会見で以下のように述べています。

1. 給与削減で被った経済的損失を回復すること
2. 法人化することで得られたはずの大学の自主性がどうなったのかを明確にすること。今回の事態は、国立大学法人における労使自治が踏み

にじられたのだということをはっきりさせること。
3. 大学が本来もっている教育研究の自由が現状では大幅に制限されているということを明確にすること。

つまり、この裁判は単に賃金に関するものではなく、本来大学とはどういうものであるべきかを問直し、あるべき大学の姿を取り戻す闘いであると全大教では位置づけています。

各裁判の予定は以下のようになっています。

山形大学 3月26日提訴

高専 4月10日第二回口頭弁論

高エネ研 4月15日第二回口頭弁論

富山大学 4月24日提訴予定

福教大 5月20日非公開の弁護士同士での日程調整

京都大学 5月ごろ提訴予定

この中で、特に京都大学は、東京大学と並んでもっとも給与削減率を圧縮した大学(4.35%、2.50%、1.00%)です。しかし、大学の財政上、給与削減する必要性がなかったということから提訴することになっています。

岡山大学職員組合では当面岡山大学を提訴することは考えていませんが、提訴に踏み切った大学に対する支援を行っていく予定です。みなさまのご協力をよろしくおねがいします。

東日本大震災義援金をAMD Aに

岡山大学職員組合では、震災の復興に貢献しようとして、一昨年度よりAMD Aに義援金を寄付してきました。「当たり前の生活を当たり前に行うこと」—この幸せを一日も早く共有できるように、私たちもできることに取り組みます！



教職員の皆様一緒に歌いませんか♪♪

月にほぼ3回、通常は金曜の6時から、岡山市立北公民館に集まって歌っています。金曜の夜に声を出して歌い、一週間のストレスと疲れを吹き飛ばすのはいかがでしょうか。音楽教育の専門家で声楽家の加藤晴子先生が、優しく手取り足取り教えて下さいます。先生の教え方がまた素晴らしいです。明るく楽しい気分になります。

ほとんどみんな完全な素人、都合の付く日で良く、遅刻早退もかまいません。よし、ちょっとのぞいてみようと思った方、岡山大学職員組合(内線7168)にお電話を！



ローカル線で行く！フーテン旅行記

第7回 高速鉄道の各駅停車！
山陽新幹線「こだま」

工学部単組 大西孝

最高速度 300 キロで「のぞみ」が行き交う山陽新幹線。2011 年の春には九州新幹線とも接続し、「みずほ」や「さくら」に乗れば岡山駅から 3 時間程度で鹿児島へ行くことができるようになり、西日本の主要都市を結ぶ高速鉄道として、発展を続けています。

そんな新幹線にも、ゆったりとした時間の流れる列車があります。それが今回ご紹介する「こだま」。ご存知のとおり、東海道・山陽新幹線の中では最も遅い各駅停車ですが、ビジネスマンを満載して駆け抜ける「のぞみ」とは異なり、のんびりとした旅を楽しむことができ、さながら「新幹線のローカル列車」といったところでしょう。



山間の駅で小休止。九州新幹線への直通列車(右)に道を譲ります。

山陽新幹線の「こだま」は、新大阪より東の東海道新幹線へは直通せず、ほとんどの列車が山陽新幹線専用の 8 両編成で運行されています。特に日中の「こだま」の大半は、「ひかりレーススター」と同じ車両で運行され、快適な旅を楽しむことができます。なぜこの車両が快適かというと、新大阪寄りの 5 両（そのうち 4 両が自由席）の座席は通路の左右に 2 列ずつの配置で、グリーン車並みの横幅があるからです。「のぞみ」の普通車は通路を挟んで 3 列と 2 列、合計で横に 5 列の座席が並んでいますが、特に混雑してくるとやや左右が窮屈になります。出張の際に満席の「のぞみ」に乗って、3 列側の中央の座席に乗りしてずいぶん疲れたという経験をされた方もいらっしゃるかもしれません。その点、「こだま」は左右の座席幅が広く疲れることはありません。なお、子供に人気の 500 系は、指定席

の 1 両を除き横 5 列の配置ですが、いずれにしても車内がよく空いているので、窮屈な思いをすることはありません。



座席が左右に 2 列ずつ並ぶ車内。それにしてもよく空いています。

岡山から博多に行く場合、「のぞみ」であれば 2 時間弱で到着しますが、「こだま」はさらに 1 時間半ほど余分に時間がかかります。途中の駅で 10 分近く停車して、後続の速達列車を先に行かせることもしばしばです。そんな時は、乗り遅れないように発車時間に注意しながら、駅の売店をのぞいてみましょう。地元の駅弁や、名産品を売っており旅気分に入れます。車内販売のサンドイッチではなく、地元の食材がぎっしり詰まったお弁当をつまみながら、ぼんやりと車窓を眺めたりしていると、疲れはあまり感じません。



旅の楽しみは駅弁！写真の小倉駅の「ふくめし」にはフグの炊き込みご飯の上にフグのから揚げなどが載っています。

空いた車内で仕事をするもよし、ぐっすり寝るもより、本を読むもよし。普段は多忙でゆったりできない方も、逆に少し長い移動時間にくつろいでみてはいかがでしょうか。「のぞみ」では味わえない独特な旅情、山陽新幹線の「こだま」には、鉄道が本来持っている魅力が残っているのかもしれない。



時折、車窓から瀬戸内海の島々を眺めることができます。徳山駅で撮影。

2013 年度**岡山大学職員組合定期大会のお知らせ**

日時：6月19日(水) 18:00～

場所：一般教育棟

各単組の代議員の方、ご出席ください。

* 終了後、ピーチユニオンで懇親会があります。代議員でない方も大会にオブザーバ参加、懇親会に参加できます。

**「全大教中国四国教研集会」のお知らせ**

日時：6月22日(土)～23日(日)

場所：徳島大学

内容：記念講演

各大学からのレポート

* 組合員はどなたでも参加できます。旅費の補助があります。参加ご希望の方は、各単組役員までご連絡ください。

**無料法律相談『ユニオン』をご利用ください**

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも、法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。

法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：新村容子 文学部教授 内線 7411


**岡山大学職員組合メーリングリスト
登録のご案内**

「組合からのお知らせ」「組合だより」「全大教メールマガジン」「全大教からの情報」などを、組合員のみなさまにダイレクトにお伝えするメールサービスを始めました。

登録をご希望の方は、連合体事務所で配信先メールアドレスをご連絡ください。

ODUnion@mb4.seikyuu.ne.jp

なお、お知らせいただいたメールアドレスは、このメールサービス以外のいかなる目的にも使用いたしませんのでご安心下さい。

岡山大学だけではなく、全国の大学や組合活動の状況をリアルタイムにお知らせする組合メーリングリストにご登録を！

事務職員アンケートのお礼

事務職員の皆様、全国大学高専教職員組合アンケートに256通のご回答をいただき、ありがとうございました。全国大学高専教職員組合にて集計後、結果をご報告させていただきます。

**輝け日本国憲法！集会 ライブ&講演**

講演：水島朝穂さん

「いま、憲法とは何かを考える

～日本国憲法施行66周年の岡山で～」

ライブ：松元ヒロさん

と き：5月3日(金) 13:30～

と ころ：三木記念ホール

参加費：一般前売り 1,000円を500円に
(組合が半額補助します)

主催：憲法のつどい岡山実行委員会

チケットは組合事務所まで(内7168)



組合では、みなさんのご意見や紀行文をお待ちしています。匿名もOKです。採用された方には薄謝を差し上げます。

**天道虫 母に土産と 差しだす子 一代**

「今日土手でな、天道虫を捕まえたんよ。おかあさんに見せようと思ったんだけど、逃げてしまうたんよ」と、小1の息子。そのことを担任の先生に話すと「ええ、大事に大事にそっと両手に入れてましたよ」と教えてくれました。